

## 荒れ放題の拙宅の庭の手入れ

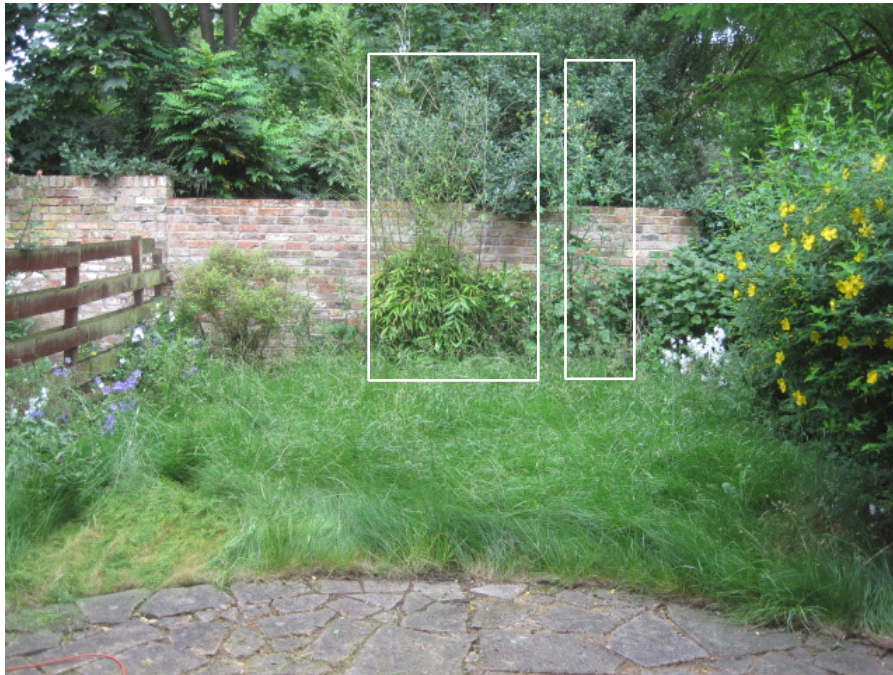
8 か月ぶりに訪れたロンドン、拙宅の荒れ放題の僅か 50 m<sup>2</sup>の庭を見て愕然としました。時期的に一年で最も緑豊かな季節だけに、ありとあらゆる植物が伸び放題で、芝生は長さ優に 30cm、どんなゴルファーでもここに打ち込んだら脱出不能と思われるほどの成長ぶりで、隣家との仕切りのレンガ壁そばの笹は 2m 近くに成長、すぐ横にどこからともなく風に運ばれて飛んできたタンポポの種もいつのまにか笹にも負けじと成長、カンタベリーベルと呼ばれている花はしぶとく厳しい冬を乗り越えた証として、白と青の花びらをしっかりと付けている姿に感動しました。

さて、庭の半分を占める伸びきった芝生をどうやって刈るか、鎌があれば稲刈りの要領で刈れそうだがイギリスではこれはかなわぬ話です。そこで手持ちのイギリス製の 30 年物の Flymo というブランドの芝刈り機は芝の長さ 10cm くらいまでは行けそうだが 30 cm にもなる芝を刈ったことがなかったので、半信半疑で刈れるかどうか、芝生の端を少し試し刈りをしてみて、Flymo を前後にゆっくりと動かすことで、刈れることが判りました。

Flymo は電動式で 1400W のモーターで長さ 30cm の刃を高速回転させその時に芝生方向に生じる強力な下降空気流によってホーバークラフトの原理で Flymo 本体が約 1cm ほど浮き上がり、本体を前後左右に軽く動かして芝を刈り取ります。芝面に衝突した下降空気流はスカート状のカバーの内側を伝って上昇空気流となり芝の刈りくずを吸い上げ集塵コンテナに導かき圧縮される仕組みになっています。例え 30cm の芝でも、なんの問題なく刈り取ってしまい、なかなかの優れものであることが判りました。下記のメーカーの URL で Flymo の動画をご覧ください。 <http://www.flymo.com/uk/products/hover-mowers/>



30 年前のホーバークラフト型芝刈り機 Flymo、まだ現役です。



手入れ前の荒れ放題の庭、成長し過ぎた中心の笹と右がタンポポ



**Flymo** で芝を刈りした後の庭、花を植えたり細かな手入れが必要になります。

□

ちなみにイギリスでは住宅の 82%は庭付きで、これらの住宅の 85%は電動式かエンジン式か乗用型の芝刈り機を保有していると言われており、年間 100 万台もの芝刈り機が売れる大きな市場となっています。(了)